

# 実習総合報告書 〈記入例〉

模擬ケアプラン作成実習及び見学・観察実習を通し、前期課程で学んだ内容を振り返るとともに、後期課程の学修目標を明確にして学習効果を高めるために、実習総合報告書を作成してください。

	受講番号	受講者氏名
実習前に掲げた目標の達成状況(評価)	<p>①受付及び相談並びに契約            〈目標〉利用者、家族との信頼関係作りをどのように行っているのかを見てみたい            〈自己評価〉実習期間中に新規で受け持つ利用者がいなかったため、机上で新規利用者を受付から契約までの流れや信頼関係作りの方法を指導してもらった。</p> <p>②サービス担当者会議の意義            〈目標〉実際、司会者の方の進行の仕方、会議の準備も含めて見てみたい。            〈自己評価〉会議前に準備することを教わり、実際、認定更新に伴う担当者会議に同席させていただき、ライブで進め方を学んだ。</p>	
模擬ケアプラン作成実習での気づき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題分析標準項目見ながら聞き取りをしたが、緊張のあまり、聞き(確認)漏れが多かった。デリケートな項目、経済状況や排泄面は聞きづらかった。どのような聞き取りの仕方をするか相手に不快にさせずに聞き取れるのか学んでいきたい。</li> <li>・地域の社会資源調査を行ったが、介護保険以外に数多くの社会資源があることに気づいた。</li> <li>・一通り利用者の情報は収集したものの、これを分析して生活ニーズを導き出すことが難しかった。また目標の設定の仕方や文字に起こして目標などを書くことが難しかった。</li> </ul>	
見学・観察実習での気づき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング面接に同行の際、相手が話しやすいように利用者に併せて座る場所を変えたりして気配りしていた。また、訪問してサービス利用状況や満足度、来月の計画を確認するだけでなく、短期目標が達成に向けて進んでいるのか、家族も含めた生活上の変化や心身面の変化が出ていないのか、困りごとが出ていないのか等細かく確認されていた。また通所や訪問のサービスにも確認していた。</li> <li>・サービス担当者会議は開催して時間管理しながら進行することも大変だと思ったが、その前の下準備も大変だと思った。例えば、利用者や家族、計画書原案に掲げたサービス事業所等の関係者への会議の日程調整、資料の準備等</li> </ul>	
実習全体を通じて感じた倫理的な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週に1回しか入浴をされない利用者がいた。その際、つい自分の価値観、習慣から良かれと思い入浴回数を増やすよう働きかけてしまいがち、支援計画に入れてしまいがちだが、本人の価値や考え方、こだわりなどしっかり確認もしないで計画に盛り込もうとすると信頼関係を損ねてしまう恐れがあることを学んだ</li> <li>・今回の現場実習で、特に自らの意思が言えない方や認知症の方は、利用者の意向より家族の意向をつい優先にしてしまう恐れがあるのではないかと感じた。</li> </ul>	
後期研修学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(実習の際にアセスメントで学んだ)利用者や家族が表出している顕在的な困りごとや希望だけでなく、利用者及び家族が気づいてない潜在的な課題やリスクや改善に向けた見通しについても推測、分析できるようなアセスメントができるようにしたい。</li> <li>・後期研修のプログラムに「適切なケアマネジメント手法」という科目がある。実習指導もまだマスターできていないと話していたが、この手法は、経験が浅い介護支援専門員でも一定水準のケアマネジメントができる。ケアマネジメントの質が高まると教わった。来る4月から実務に就く予定なので、この手法を学んでいきたい。</li> </ul>	